

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム すずな
(ユニット名)	1丁目
所在地 (県・市町村名)	長崎市
記入者名 (管理者)	松本 佳代子
記入日	平成 21年 2 月 12 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	今後も地域密着型としてのサービスを提供していく上で、利用者の方と共に、様々な形で地域の方達との交流を深め、地域住民として参加出来る機会を増やしていきたい。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	自治会婦人部の活動や陶芸教室への参加を通して、今後日常的な交流へと移行していくことができるよう取り組みを続けていきたい。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	今後も、地域の中に出て行く機会を増やししながら、利用者のご家族や地域の方達に、理解してもらえよう努めていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	今後も出来るだけ、外出する機会をつくって、顔見知りになるような関係を築いて、気軽に立ち寄っていただけるような、日常的な付き合いを目指していきたい。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	今後も色々な情報をいただきながら、行事等への参加を行ない、地域交流を深めていきたい。

グループホームすずな 1丁目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	昨年11月より、地域包括支援センターの支援のもと、自治会婦人部の方達の活動として、4階研修室で陶芸教室が開かれており、利用者も参加している。指導して下さる先生は地域の高齢者の方である。同じ博和会の老人保健施設にある電気窯を使用させてもらい、作品を焼いている。まだスタートしたばかりなので、色々な事について話し合いながら進めている状況である。	○	まだスタートしたばかりで、地域の高齢者の方の参加はないが、今後、婦人部の活動の一環として参加を働きかけていく方向になっており、参加をきっかけとしてホームの方へも気軽に立ち寄っていただき、何かできることがあったら支援したいと考えている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年、外部評価の調査終了後、ユニット会議の場で報告を行ない、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	○	今後も運営者、管理者、職員で改善への取り組みを継続して行なっていきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年の外部評価の結果報告書について、7月に開催した運営推進会議の場で、報告を行なっている。地域交流について、自治会長からもアドバイスをいただいている。	○	今後も運営推進会議の中で、相談したり、助言等いただきながらサービスの質の向上に活かしていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターの方から、陶芸教室開催について相談を受け、話し合いながら取り組みを進めている。	○	今後も行き来する機会をつくり、助言や情報等をもらいながら、サービスの質の向上に努めたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者や職員は、研修によって学ぶ機会を得ており、将来的に必要と思われる人については、関係者と話し合いを行なっている。	○	今後も、必要な人には支援できるように、管理者・職員と共に学んでいきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は、研修によって学ぶ機会を得ており、事業所内で言葉の暴力や身体拘束等を見過ごすことのないように、定期的な話し合いを持ち、職員全員がふりかえりの機会としている。	○	今後も定期的な話し合いをもちながら職員同士がお互いに注意し合えるような雰囲気、関係を築き、馴れ合いにならないよう努めていきたい。

グループホームすずな 1丁目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時等には、十分な説明を行なって理解していただけるよう努めている。利用者、ご家族の不安に配慮し、疑問点が浮上した場合には、いつでも説明を行なう旨伝えている。</p>	<p>○</p> <p>今後も利用者、家族の立場に立って不安や疑問について十分な説明を行ない、理解・納得をしていただけるよう図っていききたい。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者が職員に直接不満を言ったり、それが当事者ではない場合には、職員同士で情報を伝え合い、改善出来るよう努めている。</p>	<p>○</p> <p>利用者との信頼関係を築き、話しやすい環境を整え、利用者からの声を聴きながら、運営に反映させていきたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>金銭管理については、事務から毎月報告がなされている。普段からご家族の面会も多く、利用者の健康状態、日頃の様子について表情や言動等も、なるべく詳しくお伝えするようにしている。職員の異動についても報告を行なっている。</p>	<p>○</p> <p>今後も、こまめにご家族への報告等行ない、ご家族に信頼していただけるよう努めていきたい。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>エレベーター前に意見箱を設置しているが、意見が入っていないことはない。ご家族から直接意見をお聞きすることが多いので、その都度、話し合いをもって解決出来るように、また誠意のある対応ができるよう努めている。</p>	<p>○</p> <p>日頃から、遠慮なく率直な意見を聞かせていただけるように、ご家族との信頼関係を築いていきたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>会議の場以外でも意見を伝えてくれるように職員に話しており、日頃から職員の意見を聞きながら、運営に反映出来るよう努めている。</p>	<p>○</p> <p>お互いに意見を言いやすい雰囲気づくりを心掛けながら、意見や提案を聞く機会を設けていきたい。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>色々な行事や状況に応じて、必要な時間帯に職員の確保ができるように話し合いをもって、勤務調整を行なっている。</p>	<p>○</p> <p>今後も、可能な限り柔軟な対応を行なっていきたい。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職者はいなかったが、異動については利用者に伝える時期について検討したり、ダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>○</p> <p>職員が代ることの利用者へのダメージは大きく、今後も話し合いをもって離職者を出さないようにしていきたい。異動についても十分話し合っていきたい。</p>

グループホームすずな 1丁目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設外の研修については、内容を伝え職員の希望に応じて、勤務調整を行ないながら、研修参加の機会を確保している。施設内の研修については、担当看護師や職員の意見を聞きながら、定期的に行なっており、同じ博和会の研修会への参加の呼びかけも行なっている。</p>	<p>○</p> <p>今後も必要な研修や現場職員の意見を聞き、研修内容等を検討しながら、施設内・外の研修の機会を確保して、レベルUPや意欲の向上が図れるよう取り組んでいきたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に入ることにより、同業者とのネットワークづくりや、相互訪問できる環境の整備、地区研修会の勉強会への参加、ボウリング大会などの交流の機会を確保し、サービスの質の向上に向けて取り組んでいる。</p>	<p>○</p> <p>今後もグループホーム連絡協議会の地区研修でお互いに学びあう機会をもったり、相互訪問等も行なって交流を深め、サービスの質の向上に繋げていきたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>出来るだけ、ストレスや不満などの軽減が出来るよう、話を聞く機会をもつように努めており、たまに親睦会など開き、息抜きできる場を設けて参加するようにしている。</p>	<p>○</p> <p>相談しやすい雰囲気をつくり、一緒に考えながら、ストレスへの理解を深め、軽減を図っていきたい。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>有資格者への資格手当での支給や資格を含めて向上心をもって努力している職員の正職員への検討。また、研修参加や会議への出席等を含めた勤務状況の把握に努め、現場の意見を聞きながら、各自が向上心をもって働くことができるよう取り組んでいる。</p>	<p>○</p> <p>各自の努力している姿勢や勤務状況の把握に努めると共に、やりがいのある仕事として、どうしたら向上心を持って働くことが出来るようになるのか、職員と一緒に考えていきたい。</p>
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>出来る限り聴く機会をつくり、受け止めることができるよう努めているが、機会は多くない。</p>	<p>○</p> <p>今後も相談から利用に至るまで、本人自身から出来るだけ多く話を聴く機会を設けて、信頼関係を築けるよう努めていきたい。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>出来る限り聞く機会をつくり、受け止めることができるよう努めているが、機会は多くない。</p>	<p>○</p> <p>今後も相談から利用に至るまで、ご家族から出来るだけ多く話を聴く機会を設けて、信頼関係を築けるよう努めていきたい。</p>

グループホームすずな 1丁目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としている支援を見極めることは難しいが、他のサービスも含めた選択肢ができるよう説明を行なうなどの対応に努めている。	○	初期対応においての見極めの重要性を踏まえ、対応に努めていきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	出来る限りご本人の気持ちに配慮し、ご家族と話し合っ工夫しながらサービスを進めているが、状況によっては徐々に馴染めるような時間的な余裕がない場合もあり、その分更に、ご本人の気持ちに配慮出来るよう対応に努めている。	○	今後も出来る限りご本人の気持ちに配慮し、馴染みながらサービスが開始出来るようご家族と相談しながら工夫していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、一緒に過ごしながら、笑ったり喜んだり励まし合ったり、時には泣いたりしながら、ご本人から学び、支え合う関係が築けるよう努めている。	○	今後も一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、ご本人から学んだり、支え合う関係となれるよう努めていきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と話し合いながら、気持ちを共有し、共にご本人を支えていく関係を築くことができるよう努めている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	職員はご家族以上の精神面の支えにはなれないことを認識した上で、ご本人とご家族の関係を大切に考えて、より良い関係が築けるよう支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る限り、個別に支援するよう努めている。	○	ご本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所について、もっと情報を得ることができるよう努めながら支援していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係について把握出来るよう努め、変化していく状況に合わせて、利用者同士がより良い関係が築けるよう支援に努めている。	○	利用者同士の関係も変化していくことがあると考え、その時々状況を把握しながら、利用者同士関わり合い、支え合うことが出来るよう支援していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院で退居された方の面会に行ったり、亡くなられた利用者のご家族からの電話等も受けながら、つきあいを大切に考えて続けている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員間で情報を共有し、一人ひとりの希望や意向の把握に努めている。困難な場合は、ご本人の表情や様子などを観察しながら、ご本人が主体となるように検討している。	○	今、希望や意向を伝えることの出来る利用者からは、出来る限り聞いて、記録に残していきたい。思いは状況によって変化していくこともあり、伝えることが困難な方の思いを汲み取ることが出来るよう努めていきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者の方から話を聞いたり、ご家族からの話を聞いたりしながら、これまでの暮らしの把握に努めている。	○	利用者やご家族からもっとたくさんのお話を聞きながら記録し、職員間で共有していきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	暮らしの現状が把握出来るよう努めており、小さな変化に対しても職員間で情報が共有出来るよう、申し送りを行なっている。	○	特に心身の状態については、小さな変化に気付くことが出来るよう努め、情報を共有していきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者会議の他にも、日頃の会話や気付き等から意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	○	今後も検討を重ねながら、利用者本位に考えた介護計画の作成に努めていきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直し以外にも、状態の変化に合わせて計画の見直しを行ない、計画を作成している。	○	状態が変化した時、必要に応じて短期計画を作成するなど、現状に即した介護計画を作成していきたい。

グループホームすずな 1丁目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を記入しているが、ケアの実践や結果等、計画の内容に沿っていない部分もあり、計画の内容についての把握が十分とはいえない。	○	介護計画をケアの実践に反映していく為に、記録の在り方等を含め、職員と一緒に話し合いながら、実践に活かせるよう取り組んでいきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	お話を伺いながら、出来る限り要望に沿うよう努めており、難しい場合には、話し合い、納得していただけるよう努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の民生委員のボランティア活動の受け入れや地域活動の場所の提供等行なっている。4階研修室にて、精霊船のお花飾り作りや現在は、陶芸教室への参加を支援している。	○	今後も、利用者の意向や必要に応じて、新しい取り組みがあったら参加できるように支援していきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	行なっていない。	○	今後、必要に応じて話し合いながら支援していきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	行なっていない。	○	今後、必要が生じた時に協働できるよう、準備段階として話し合っていきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に希望を伺い、これまでのかかりつけ医への受診を継続出来るよう支援している。ご家族が付き添えない場合は、介助費の同意を得た上で、受診付き添いを支援している。	○	今後もご本人・ご家族の希望を大切に、かかりつけ医への受診を支援していきたい。

グループホームすずな 1丁目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>状態の変化と共にご家族の考え方や思いが変化していくこともあり、今後も繰り返し話し合いを続けていきたい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	普段から言葉掛けには気をつけており、定期的な会議でも接遇に関する気付き等職員間で話し合っているが、その都度反省点があり、十分行き届いているとはいえない。記録等の個人情報の取り扱いには十分注意している。	○ 安全の確保とプライバシーの確保と相反する場合等もあり、話し合いながら、一人ひとりの誇りを傷つけないように気を付けていきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	出来るだけ自己決定ができるよう支援し、職員間でその情報を共有して、実現出来るよう努めている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のペースに合わせて希望に沿えるよう努めているが、個別の外出など日程を調整しないと希望に沿えない場合もあり、その時は、出来るだけ納得していただけるよう説明を行っている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	馴染みの美容室への外出支援を行なっている。入浴の着替えの準備や外出時の服選びは、ご本人の希望を聞きながら一緒に行なっている。口紅等のお化粧品もご本人の希望を聞いて支援している。	○ 女性にとっておしゃれは、楽しい気分転換になるので、今後も要望を聞きながら支援していきたい。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は作っていないが、器を選んだり、盛り付けや配膳、片付けなど一緒に行なっている。おやつはなるべく一緒に作るようにしている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物は希望を聞きながら、また状況に応じた好みの物を支援している。お酒を飲む方は現在おられない。おやつは、なるべく希望を聞くようにしている。	

グループホームすずな 1丁目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	声掛けしてトイレ誘導し、記録をつけながら、排泄パターンがつかめるようにして、排泄の失敗が減るよう支援している。立位が困難な方もトイレでの排泄支援を続けている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	なるべくご本人の希望に沿うようにしているが、職員が不在で安全の確保が困難な場合は、希望に添えないことを納得していただけるよう説明を行なっている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの希望や状況に合わせて支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの能力に合わせて家事を手伝っていただいたり、色々な場面で声掛けをしながら、気分転換になるよう支援している。手伝いは気持の負担にならないよう気をつけている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	話し合っって大きいお金は事務所に預けてもらい、ご本人が希望される時に出しているが、普段の買い物等のお金はご本人が管理しており、状況に合わせて支援している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	施設は斜面地に立地しており、周辺への徒歩での外出はお一人ずつの支援になる為、一人ひとりのその日の希望に沿うことは難しいが、屋上ベランダや敷地内の畑等を利用して、戸外に出る機会をつくっている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ドライブや買い物、食事会など皆さんと一緒に外出する機会をつくって支援しており、ご家族にも声掛けして一緒に外出している。		

グループホームすずな 1丁目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	要望があったら、電話を掛けたり、取り次ぐなどの支援をしている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会に来られた時は、要望に沿って居室やリビングで過ごしていただき、利用者と共に楽しく居心地よく過ごしていただけるよう心掛けている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日頃から座らせっぱなしや言葉による拘束等行わないよう留意し、会議の場でも取り上げながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しながら、利用者の所在確認や見守りを行ない、安全に配慮している。	○	安全の確保とプライバシーの確保と相反する場合等もあり、話し合いながら、一人ひとりの誇りを傷つけないように気を付けていきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状態に合わせており、一律になくすようなことはしないようにしている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	施設内研修を行ないながら、危機意識を高め、リスク予測出来るよう努めている。また、ヒヤリ・ハットや事故発生時に、早急に防止策を検討し、職員全員が情報を共有できるように申し送りを徹底し、同じことを繰り返さないように事故防止に取り組んでいる。		

グループホームすずな 1丁目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	連携している担当看護師に相談しながら、定期的に施設内研修を行ない、全ての職員が応急手当や初期対応ができるよう訓練を行なっている。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急マニュアルを作成して、定期的に火災訓練を行っており、法人内や地域の方の協力が得られるよう働きかけている。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	日頃の様子についてや必要に応じて随時、ご家族への報告を行なうようにしており、起こり得るリスクや対応策についても話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化や異変について、早期発見に努め、申し送りを徹底して情報を共有し、必要に応じて医療との連携を図っている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬についての理解は必要であり、利用者一人ひとりの個別の内容について理解できるよう努めている。利用者全員の薬の説明書をまとめて、その都度確認しながら服薬支援を行なっている。	○	誤薬事故防止についてマニュアルを作成しており、絶対起こさないように繰り返し、確認を行なっていきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	職員は、便秘の及ぼす影響を理解しており、排便状況や水分摂取量を個別に記録して、軽運動や歩行の機会を増やすなどの働きかけを行ないながら、状態に合わせて個別の対応を行なっている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨きを習慣にしており、一人ひとりの能力に応じた支援を行なっている。		

グループホームすずな 1丁目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が立てた献立で、カロリー計算された食事を、一人ひとりの状態に合わせて提供しており、個別に記録して摂取量の把握が出来るようにしている。必要に応じて管理栄養士や担当看護師に、随時相談しながら連携を図り支援している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対する予防や対応についての取り決めがあり、実行している。また、面会者に対しての注意喚起の呼びかけを、随時行なっている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用器具は熱処理を行なっている。おやつなどの食材は、内容によってまとめ買いをせず、新鮮な物を使用して、作り置きはしないようにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	受付を通られる時には、こちらから声を掛け、初めて来られる方は案内するようにしている。入り口に 観葉植物を置いたり、季節のものを飾るなど明るい雰囲気を心掛けている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレや浴室は清潔を心掛け、玄関や居間、食堂等には、季節の飾りつけをして、居心地よく過ごせるよう工夫している。	○	利用者の希望を聞きながら一緒に飾りを作ったりして、生活感や季節感ができるように工夫していきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	昨年、居間の畳を除きフローリングに替え、居間の共用空間を広くとって、状況や希望に合わせてソファを移動し、居場所の選択肢が広がるようにして活用している。	○	限られたスペースなので、発想の転換をしたり、色々な意見を聞きながら、工夫して居場所づくりを行なっていきたい。

グループホームすずな 1丁目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者・家族の方が相談して馴染みの物や家具を揃えている。居心地よく過ごせるよう、途中からでも、自由に持ち込んでいただいている。安全面に配慮しながら、模様替えの支援も行なっている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	24時間の換気設備があり、日中も必要に応じて窓を開けて換気を行なっている。エアコンは状況に合わせて作動させており、利用者の好みや習慣等にも配慮している。	○	感染予防を踏まえ、今後も換気・空調への配慮を行なっていきたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーで、廊下・浴室・トイレには手すりを設置している。構造上、死角が多い為、廊下にミラーを設置して見守りを行なっているが、十分とは言えない。	○	今後もリスク予測等行いながら、転倒事故等のないように留意し、安全で自立した生活が送れるよう工夫していきたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレの場所や浴室等、わかりやすいように表示している。	○	今後も必要に応じて、利用者の状態に合わせて工夫していきたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	園芸の好きな利用者と一緒に、屋上ベランダで草花を育てており、気分転換の場としても活用している。気候のいい時にはベンチに座っておやつを食べたり、お茶を飲んだりしている。外周りにある畑は、去年は作れなかったが、焼き芋をしたり、散歩コースとして活用している。	○	新しい利用者の方も一緒に、畑で作物を育てたり、収穫したりと利用者と一緒に楽しめるよう畑を活用していきたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホームすずな 1丁目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)